

第4章 愛知らしさ発揮の視点

- 前述の課題認識を踏まえたうえで、あいちオレンジタウン構想においては、愛知らしさを発揮するため、「対象地域の強み」と「愛知の強み」を活かした取組を展開していきます。

(1) 対象地域の強み

- あいち健康の森内には、実践機能と研究機能を備えた3つの専門機関が立地しており、これらの専門機関は、これまでも予防（主にあいち健康プラザ）、医療（主に国立長寿医療研究センター）、介護（主に認知症介護研究・研修大府センター）のそれぞれの分野において、高度な専門性を発揮し、成果をあげてきました。
- これらの専門機関が、それぞれの機能をさらに強化するとともに、新たな連携体制を構築するなど、この立地を活かした取組を行っていきます。

(2) 愛知の強み

- 愛知県は、製造品出荷額等が43兆8,313億円と、全国の約14.4%を占め、第2位の神奈川県とは大差で第1位となっており、活力ある民間企業が多数あります。(表12)
- また、県内には、47都道府県中3番目に多い50の大学が設置されており、大府市にも2大学が立地しています。大学学生数、大学院学生数、教員数も全国上位に位置しています。(表13)
- 認知症対策の加速化をめざし、全県的な機運を早期に高めていくため、愛知県の活力ある「民間企業」や「大学」との連携といった、これまでにないアプローチにより、発信力を高めます。

表12 都道府県別製造品出荷額等（製造業、従業員4人以上の事業所）

	都道府県名	金額
1位	愛知県	43兆8,313億円
2位	神奈川県	17兆7,211億円
3位	大阪府	16兆5,292億円

資料：工業統計調査 確報 概要版（平成26年度）経済産業省

表13 大学、学生、教員等の状況

	大学数		学生数（千人）		大学院生数（千人）		教員数（千人）	
	都道府県	数	都道府県	数	都道府県	数	都道府県	数
1位	東京都	137	東京都	746	東京都	68	東京都	51
2位	大阪府	55	大阪府	237	大阪府	18	大阪府	13
3位	愛知県	50	神奈川県	194	京都府	17	愛知県	11
4位	北海道 兵庫県	37	愛知県	192	愛知県	14	京都府	10
5位	京都府 福岡県	34	京都府	163	神奈川県	13	福岡県	9
全国計	-	777	-	2,874	-	250	-	184

資料：学校基本調査（平成28年度）文部科学省

第5章 基本理念

地域で暮らし、学び、働く人々が、「認知症に理解の深いまちづくり」に「じぶんごと」として取り組む社会の実現

- 愛知には、企業や大学が集積していることから、地域で暮らす人はもちろん、地域で働く人や地域で学ぶ学生を、あいちオレンジタウン構想の取組に巻き込んでいくことをイメージしています。
- 認知症は、誰もがなる可能性があり、介護者として関わる可能性がある身近な病気です。
- 「認知症に理解が深い」とは、「認知症に関する正しい知識を持ち、認知症予防や認知症の人やその家族への支援の取組に参画すること」と捉え、ひとりひとりが認知症を「じぶんごと」と考え、積極的にあいちオレンジタウン構想の取組に参画してほしいというメッセージを発信しています。
- あいちオレンジタウン構想の取組に参画した人々がつながり、支え合うまちづくりをめざします。

スローガン：認知症じぶんごと ONE アクション

- 「ひとりひとりが自分にできることを考え、はじめの一步を踏み出しましょう」と呼びかけています。